

古賀総合病院 広報誌

フィオーレ

KOGA

Vol.39

2025 年 4 月号



TOPICS

- あいさつ 社会医療法人同心会 理事長 古賀 倫太郎
- 登録医の紹介 かいクリニック 院長 甲斐 睦章 先生
- 院内ニュース 当院での前立腺がん治療の進化について
リードレスペースメーカーの紹介
新任医師紹介





新年度を迎え同心会も新たな年度方針の下、動き始めました。今年度のテーマは業務改善・効率化です。2025年の日本の総人口は約1億2300万人。そのうち15歳から64歳のいわゆる生産年齢人口は7170万人だそうです。この数字は昭和45年頃の数字に相当します。なんだ高度経済成長期後半と変わらないじゃないかとも思いましたが、その当時の日本の総人口は約1億人。こう考えるといかに働く人が減ったかを実感します。総人口は20%以上増えたのに、働く人数は変わらないわけです。

4月1日より各交通機関のダイヤ改正が行われました。地方都市の多くでは減便もしくは廃止です。その一方で自動運転やAIを使った乗り合い型バスなどの実証実験も始まりました。本当に人にしかできない仕事に人材を集中し、他で代用できるものは代用していく考えです。

医療や介護も労働集約型産業と言われます。患者さんに注射をしたり、利用者さんのお世話をしたりということはやはりまだ人の手に頼らざるを得ません。ロボット手術や介護ロボットなどの言葉は聞かれますが、あくまで人が行うことの補助的な役割を担うだけで人が必要なくなることはありません。その上、時代の進歩とともに技術・知識は高度化し、複雑化している。同じ病気の治療でも行う手数は相当に増えている。当然、業務量は増え、相対的に賃金の割安感を感じ、医療・介護職から人が減り、人手不足になる・・・という悪循環に入ってしまった危機感を感じます。この状況を変えていくために必要なことが、今までの仕事の仕方を見直し、必要なものとそうでないものを分別し、他の人でも出来ることは任せ、代用できるものは代用する。ICTやデジタル技術を活用し、仕事の仕方、業務フローを変革するデジタルトランスフォーメーション(DX)を行うということになります。言葉で言うのは簡単ですが、意外と医療・介護の世界でも人でなくとも出来る業務、省力化出来る業務はあるようです。特に患者さん、利用者さんに関わらない業務(間接業務)。例えばカルテを記録する、会計をする、見守りをするなど…。また、組織の縦割りのせいで、同じような業務をあちこちで行っている。先日、点滴をオーダーして投与するまでの業務フローを見直してみたら、なんとあちこちでダブルチェックを行っているということが分かりました。こういったことを見直し、本当に必要な業務を、その人にしかできない業務に専念して出来るように仕事の仕方を見直し、自動化、機械化できること、タスクシフト・タスクシェア出来るところは任せていく。患者さん、利用者さんに直接関わる業務(直接業務)に専門職が専念することで仕事のやりがいを感じ、充実感を味わえる仕事の仕方に変えていく。そういう業務改善・効率化に取り組まないといけません。業務を効率化し、患者さん、利用者さんに関わる時間、人財を教育する時間、自己の研鑽、自身のプライベートに使える時間を生み出し、患者さんや利用者さんだけでなく、働く人の満足度も向上する取り組みを同心会をあげて行っていきたいと思います。引き続きのご指導、ご支援のほどどうぞよろしくお願い致します。

かいクリニック

〒880-0053

宮崎県宮崎市神宮 2-3-4 《宮崎県総合文化公園前》

TEL：0985-78-0112

診療科目

リウマチ科・整形外科・内科

循環器内科・呼吸器内科・リハビリテーション科



院長 甲斐 睦章 先生

2013年6月1日に宮崎市神宮町という歴史と文化が薫る地に開院いたしました、かいクリニックです。「愛と信頼の医療」を理念とし、地域の皆様の健康を長きにわたりサポートさせていただいております。北には霊験あらたかな宮崎神宮、西には県立図書館、芸術劇場、文化公園が佇むこの場所で、皆様の健康を支える一助となれることを光栄に感じております。

院長である私は、1988年に宮崎医科大学を卒業後、九州大学整形外科学教室に入局し、関連病院での研修を経て、この地に魅せられ開業に至りました。

開院当初はリウマチ科と整形外科を中心に診療を行ってまいりましたが、2022年には施設を増設し、より幅広い医療ニーズにお応えできるよう体制を拡充いたしました。新たに、内科（循環器内科：木田修先生、呼吸器内科：飯干宏俊先生）の医師を迎え、内科診療を開始しました。また、リハビリテーション施設も充実させ、5名の理学療法士による運動器疾患に対する機能回復、社会復帰、スポーツ障害に対しては復帰に向けた段階的なトレーニングで競技復帰をサポートしております。

古賀総合病院の先生方には、入院治療やより専門的な治療、画像診断に至るまで、大変お世話になっており、細やかなご対応に心より感謝申し上げます。

今後とも、患者様にとって最善の医療をご提供できるよう、職員一同努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



当院での前立腺がん治療の進化について

泌尿器科 部長 上別府 豊治



泌尿器科の上別府です。当院に赴任し4年が経過しました。地域の先生方に支えて頂き、患者数も手術数も増えています。前立腺がん治療について、新規装置を導入し、最先端の治療が可能となりました。

男性の悪性腫瘍の中で前立腺がんは罹患率1位です。当院でも年間120例超の新規前立腺がんの診断をしています。前立腺がんの根治治療は、①前立腺全摘手術と②放射線治療が主となります。新規装置を導入しましたのでそれぞれ紹介します。

①ロボット支援下前立腺全摘除術について

前立腺がんの根治治療の一つは、前立腺全摘除術です。前立腺は骨盤の最も奥深い場所にあり尿道膀胱吻合等の操作が必要となるため、全摘術は泌尿器科手術の中でも難易度の高い手術に分類されます。低侵襲治療として早期からロボット支援下手術が保険収載されています。昨年、当院にダヴィンチシステムが導入されました。宮崎県内では、宮崎大学医学部附属病院・県立宮崎病院に続いての導入です。本年2月より前立腺癌に対する前立腺全摘手術を開始しています。このダヴィンチシステムは、手術支援用の機械です。執刀医が手術室内のコンソールに座って、3Dカメラの映像を見ながらのアームを操作して手術を行います。腹腔鏡手術の延長ではありますが、関節のあるアームを操作することにより従来よりも精細な作業が可能となっており、より安全に手術が行えるようになりました。今後も症例数を増やして実績を積み重ねていく予定です。



②放射線治療について

前立腺がん根治治療のもう一つの柱は、放射線治療です。こちらでも昨年、新規放射線治療装置を導入しました。前立腺がん治療には特に有用な強度変調放射線治療(IMRT)と画像誘導放射線治療(IGRT)が可能になりました。より細かく前立腺に限局した放射線治療が行えるようになっています。加えて、当科では放射線治療前に、前立腺直腸間に放射線治療用吸収性組織スペーサ(ハイドロゲル型)を挿入する処置を行っています。直腸への照射量を減らすことにより後期合併症を低減できます。



今後は、これらの最新の治療装置をより活かして、地域の先生方にもご協力頂き前立腺がん治療の最前線として頑張っていきたいと思えます。血液検査でPSAが基準値(4.0ng/mL)以上の方がいらっしゃるいましたら、遠慮なく当院当科までご紹介をお願いします。

リードレスペースメーカーの紹介

循環器内科 医長 松浦 亮太

リードレスペースメーカーは2017年より本邦で使用可能となり、宮崎県内でも植込み可能な施設が増えてきています。当院でも2024年8月より施行可能となりました。リードレスペースメーカーについてご紹介させていただきます。

① リードレスペースメーカーの特徴

リードレスペースメーカーは、従来のペースメーカーと異なり、リード線を必要としない新しいタイプのペースメーカーです。非常に小さなカプセル型のデバイス(約2g)を心臓内に直接留置します。従来のペースメーカーに比べてさまざまなメリットを提供します。

- ・感染リスクの低減: 大腿静脈からカテーテルを用いて心臓内にデバイスを留置するため、胸部を切開する必要がありません。皮下ポケットやリード線を使用しないため、従来のペースメーカーに比べて感染のリスクが大幅に低減されます。
- ・患者さんの負担軽減: 手術時間および入院期間が短縮でき、患者さんの負担が軽減されます。
- ・MRI対応: 1.5Tおよび3.0TのMRI検査に対応しています。(検査前にMRI検査モードに設定を変更する必要があります。)

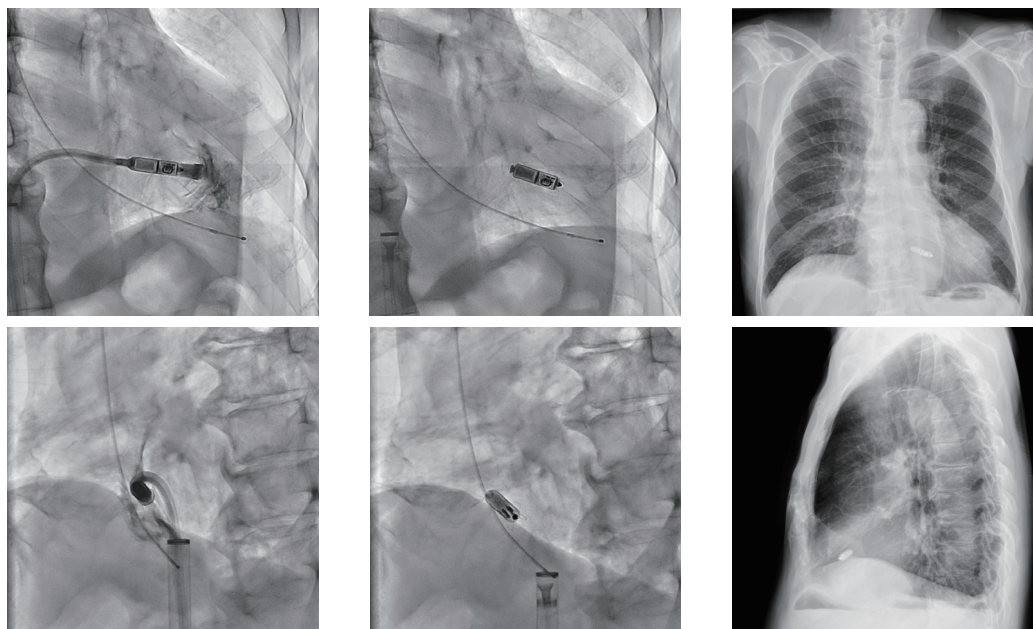


② 適応となる患者さん

徐脈性不整脈(房室ブロック、洞不全症候群、徐脈性心房細動)でペースメーカー植込みの適応がある患者さんで、リードレスペースメーカーは特に以下のような方に適しています。

- ・静脈アクセス温存の必要性や静脈狭窄・閉塞などがあり、リード線の挿入が困難(透析や解剖学的要因)
- ・従来のペースメーカーによる感染や合併症のリスクが高い(免疫抑制薬などの治療中)
- ・高度フレイルや寝たきり状態の患者さん

リードレスペースメーカーは、従来のペースメーカーに比べて、感染やリード関連合併症のリスクを軽減する革新的な技術です。リードレスペースメーカー、従来のペースメーカーそれぞれに長所および短所があります。不整脈の種類や心不全合併の有無、併存疾患や年齢など、様々な要素を考慮して最適な心臓デバイスを選択する時代になりました。患者さんへより良い治療を提供できるよう努めて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



新任医師紹介

皮膚科

天野 正宏 先生



今年3月に大学病院を定年退職し、4月から古賀総合病院皮膚科にお世話になっております。津守伸一郎部長とともに地域に根ざした皮膚科診療に努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

古賀駅前クリニック

宮後 冴 先生



4月から健診センター勤務となりました宮後と申します。以前に消化器内科として古賀総合病院で2年間勤務しておりました。健診部門から地域の皆様の健康維持増進に貢献出来るよう努めてまいります。宜しくお願い致します。

消化器内科

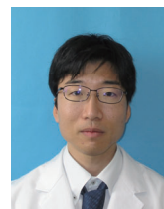
津山 恭佑 先生



4月より消化器内科の常勤医師として入職致しました。火曜日の外来(初診・再診)とその他の平日には上部・下部内視鏡検査など担当しております。是非消化器に関してのお困りごとがあればご相談ください。

内科専攻医

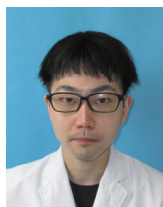
伊澤 和範 先生



地域の医療に貢献出来るよう、診療したいと思っております。よろしくお願いいたします。

内科専攻医

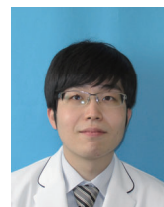
山下 遥大 先生



4月から腎臓内科専攻医として赴任しました、山下遥大と申します。初期研修の2年間で古賀総合病院で終え、2年経ってまたこちらで働かせて頂くこととなりました。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

内科専攻医

野中 智仁 先生



2025年4月より腎臓内科へ赴任しました、医師5年目の野中智仁と申します。地元宮崎の医療に貢献できるよう、また自身のスキルアップもできるように邁進して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新任医師紹介

内科専攻医

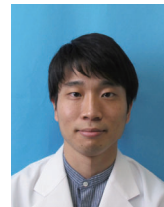
菊池 幸 先生



4月より内分泌代謝内科に赴任いたしました菊池と申します。地域の皆さまに貢献できるよう日々努力していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

内科専攻医

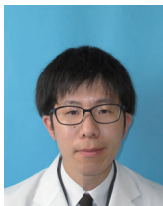
別府 拓海 先生



4月より内分泌代謝内科専攻医として勤務させていただきます、別府拓海と申します。宮崎市出身です。地元宮崎の医療に貢献できるように精一杯努めます。よろしくお願い致します。

内科専攻医

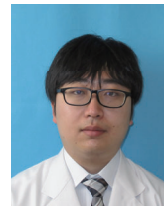
沼田 翔英 先生



茨城県出身で、縁あって宮崎で働かせていただいています。宮崎に来て10年目になりますが、いまだに宮崎楽しいです。皆様に納得いただける医療を目指して頑張りますので、よろしくお願い致します。

内科専攻医

黒木 研吾 先生



4月より内科専攻医として勤務させていただきます、医師3年目の黒木研吾と申します。日々学びを深めながら、患者さんに寄り添った医療を提供し、地域に貢献できるような医師として精一杯励みます。どうぞよろしくお願い致します。

研修医

永田 なつめ 先生



4月より初期研修医としてお世話になります、永田なつめです。この春宮崎大学を卒業しました。至らない点多くございますが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

【2025 年 3 月末退職医師】

- ・稲留 直樹 先生
- ・帖佐 宣昭 先生
- ・黒木 暢一 先生
- ・後庵 篤 先生
- ・植村 倫行 先生
- ・有馬 直樹 先生
- ・横田 純之介 先生
- ・横尾 優希 先生
- ・八瀬尾 祐斗 先生
- ・岡本 爽希 先生
- ・積島 宏昂 先生

理念

「患者さんやご家族に納得していただける医療・介護・福祉サービスを継続して提供します」

基本方針

1. 質の高い組織マネジメントの遂行
2. 設備・環境の改善
3. 職員の資質向上（人材育成）
4. チーム医療の推進
5. 相手の立場に立った目配り・気配り
6. 健全な経営管理

地域医療連携室からのご案内

＜今後の研修予定＞

◎ 研修のご案内は随時お知らせしてまいります。

* お問い合わせ直通:0985-39-8952 FAX:0985-39-0372 Email:kgh-renkei@kgh.or.jp

* 受付時間:平日 8時30分～17時00分

＜お知らせ＞

◎ 泌尿器科は予約制です。患者さんから病院あてにお気軽にご連絡ください。(※)

古賀総合病院代表:0985-39-8888

◎ 内分泌代謝内科、呼吸器内科は予約制です。

患者さんから内科外来あてにお気軽にご連絡ください。(※)

内科外来直通:0985-39-0412

受付時間:平日 14時00分～17時00分

※ 急患に関してはこの限りではありません。

お知らせ

日頃より、当院をご利用いただき誠にありがとうございます。

このたび、診療体制の変更に伴い、消化器内科初診対応につきまして、令和7年4月1日より予約制とさせていただきます。誠に申し訳ございませんが、何卒皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

予約は内科外来・地域医療連携室にて承ります。

【内科外来直通】0985-39-0412 14:00～17:00

【連携室直通】0985-39-8952 8:30～17:00

※令和7年4月1日から運用を行いますが、当初は移行期間として対応させていただきます。

※急患に関しましてはこの限りではありませんので随時ご相談ください。



消化器内科
ホームページはこちら

関連施設

【フィオーレ KOGA 看護専門学校】

〒880-0879 宮崎市宮崎駅東2丁目2-10

TEL 0985-38-8010 FAX 0985-38-8020

【介護老人保健施設 春草苑】

〒880-0041 宮崎市池内町数太木 1749-1

TEL 0985-39-8899 FAX 0985-39-8978

【フィオーレ KOGA】

〒880-0812 宮崎市高千穂通2-7-14

・古賀駅前クリニック(1F)

TEL 0985-22-2111 FAX 0985-23-9598

・古賀駅前クリニック健診センター(2F)

TEL 0985-22-2112 FAX 0985-32-0317

・メディカルフィットネスフィオーレ(3F)

TEL 0985-22-2113 FAX 0985-22-2791

・鍼灸院フィオーレ(1F)

TEL 0985-22-8950

【古賀在宅ケアセンター】

〒880-0041 宮崎市池内町数太木 1763-3

・古賀訪問看護ステーション あおぞら

TEL 0985-39-8127 FAX 0985-39-9160

・居宅介護支援事業所 古賀ケアプランセンター

TEL 0985-39-9150 FAX 0985-39-9160

発行元：古賀総合病院 庶務課 2025年4月発行

〒880-0041 宮崎県宮崎市池内町数太木 1749-1

TEL 0985-39-8888 FAX 0985-39-0067

E-mail info@kgh.or.jp